

1 今後の感染拡大に備えた検査需要（通常検査）

（1）通常時の検査需要 ⇒ 1日当たりの検査需要：① + ② = 約12,500件

①基本の検査需要 ⇒ 約11,400件

②変異株対応としての濃厚接触者以外の関係者に対する積極的疫学調査 ⇒ 約1,100件

（2）緊急的に検査体制を拡充する必要がある場合の検査需要 ⇒ 1日当たりの検査需要：① + ② = 約15,700件

①基本の検査需要 ⇒ 約14,300件

②変異株対応としての濃厚接触者以外の関係者に対する積極的疫学調査 ⇒ 約1,400件

2 高齢者施設等における集中的な定期検査の検査需要

（1日当たり見込み数）

	高齢者施設			障がい者施設等			総計
	4月～6月 集中的実施計画	その他 (集中的実施計画に盛り込んでいない需要)	計	4月～6月 集中的実施計画	その他	計	
通常時	約5,300件	約200件	約5,500件	約780件	約20件	約800件	約6,300件
緊急時	約6,100件	約1,000件	約7,100件	約780件	約20件	約800件	約7,900件

・算出方法：推定対象者数に、実績に基づく実施率を乗じ、検査頻度（2週間に1回など）及び働きかけ等による増加分（1.1倍）を考慮し算出

3 変異株スクリーニング検査の検査需要

①通常時の検査需要 ⇒ 約570件

②緊急的に検査体制を拡充する必要がある場合の検査需要 ⇒ 約710件

新型コロナウイルス感染症大阪府検査体制整備計画【改訂版】〈概要〉 - 検査体制 -

1 検体採取能力の点検結果

	通常時		差引き +約11,700件	緊急時		差引き +約16,900件
	検体採取能力	検査需要		検体採取能力	検査需要	
通常検査	約17,400件	約12,500件	➔	約23,400件	約15,700件	➔
定期検査	約13,100件	約6,300件		約17,100件	約7,900件	
計	約30,500件	約18,800件		約40,500件	約23,600件	

○ 通常検査、高齢者施設等における定期検査ともに検査需要を満たす検体採取能力を有している。

2 検査（分析）能力の点検結果

〈通常検査 + 高齢者施設等における定期検査〉

通常時		差引き +約12,300件	緊急時		差引き +約18,200件
検査（分析）能力	検査需要		検査（分析）能力	検査需要	
約31,100件	約18,800件	➔	約41,800件	約23,600件	➔

○ 通常検査、高齢者施設等における定期検査ともに検査需要を満たす検査（分析）能力を有している。

〈変異株スクリーニング検査〉

通常時		差引き +約480件	緊急時		差引き +約560件
検査（分析）体制	検査需要		検査（分析）体制	検査需要	
約1,050件	約570件	➔	約1,270件	約710件	➔

○ 通常時、緊急時ともに検査需要を満たす検査（分析）能力を有している。

まとめ

- 検査需要を見直し、検査体制（検体採取能力及び検査（分析）能力）を点検したところ、通常検査、高齢者施設等における定期検査及び変異株スクリーニング検査の全てにおいて検査需要を満たす検査能力を有していることが判明。
- これは、診療・検査医療機関の指定をはじめ数々の取組みを実施しながら検査体制の整備に取り組んできた成果と言える。
- 一方、第4波を乗り越えるとともに、今後の感染の波を最小限に抑えることが喫緊の課題。検査の面からのアプローチとしては、確保した能力を有効に活用し、適切に検査を行うことで、感染拡大を防止することが重要。